



令和7年
8・9月

学校だより

NO.5 令和7年8月27日
さいたま市立美園北小学校
TEL 048(812)2277
<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp>

自分自身で考えること

校長 荒井 宏之

夏休みが終わり、第2学期が始まりました。1学期からの暑さは夏休み中も続き、熱中症対策など健康面に気を遣うことが多かったことと思います。長期休業明けは、誰でも生活のリズムを取り戻すのに時間がかかります。また、休み中に一人や少人数で過ごすことが多かった子どもは、集団生活にストレスを感じることもあると思います。学校では、子どもたちの様子や変化に目を向け、リズムを取り戻していけるよう努めてまいります。御家庭におかれましても、子どもたちが生活リズムを整えられるようお力添えをよろしく願います。

さて、夏休み中に小野伸二さんの講演を聴く機会がありました。小野さんと言えば、若いころから注目を集め、浦和レッズをはじめ複数のJリーグのチームやドイツなどの海外チーム、そして日本代表としても活躍された日本を代表する元プロサッカー選手です。今回の講演は、ナビゲーターの質問に答える形式で行われました。その中で、子どもたちを成長させるポイントと感じた部分がありましたので御紹介いたします。

国内外の様々なチームで成功を収めてきたことに関して、秘訣を聞かれると小野さんは、「自分から心をオープンにすること。」という答えを返されました。個人の技術やチーム戦術の話ではなく、「心」のお話でした。新しい環境や慣れない場所でも自分の心をオープンにしていくことで周囲に受け入れられるとともに、自分自身もいろいろなことを受け入れていくことができるようになるということです。これは、子どもたちが将来、多くの仲間とよりよい生活を送るために大切なことであると感じました。子どもたちには、例えば、潤いの時間の人間関係プログラムなどを通して、自分の心をオープンにする練習をしてほしいと考えます。

続いて、試合に臨むときに大切なことについて聞かれると、「これだけやってきた」という自信をもって試合に臨むことが大切と話されていました。このことは、子どもたちにとってみるとテストや○○会のような発表の場に当てはめることができると思います。小野さんのように自信をもって臨むためには、それまでの過程における努力が必要であるということです。我々大人たちも、まずは努力する子どもの姿に目を向け、褒めることで努力を継続させ、自信へとつなげていけるようにしていきたいと考えます。また、小野さんが強調されていたお話がありました。それは、「試合に出たら、自分で考えなければならない場面ばかりなので、教えてもらうことも大事だが日頃から自分自身で考えることも大切にしてほしい。」というお話でした。自分自身で課題を解決していく力を育むこと。これは、学校教育においても大切にしていることです。御家庭においても子ども自身が考える場面を設定していただき、さらなる成長を促していただけると幸いです。

保護者や地域の皆様方には、子どもたちの健やかな成長のため、2学期も様々な面でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。